

令和8年度 事務事業評価シート（1）

〔 令和7年度事務事業 〕

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業	
事務事業名	戦傷病者・戦没者遺族等援護				事業番号	011-005	
担当部署名	健康福祉局	局	長寿社会部	部	長寿支援課	課	

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本 計画2025	施策 との 関連	有・無	戦略	2.人生100年時代の健康・福祉 ～Well-being～	施策	(4)高齢者が住み慣れた地域で心豊かに暮らし続けられる社会の実現		
			有	取組の方向性	⑤高齢者が安心して暮らし続けられる生活環境の整備				
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—				
	無		現状値	—		目標値	—		
	堺市SDGs 未来都市計 画 2021-2025	施策 との 関連	有・無	ゴール	—		ターゲット	—	
			無	取組	—				
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—				
			無	現状値	—		目標値	—	

2	関連計画	—		
3	事業開始年度	— 年度	点検対象年度（堺市基本計画2030）	令和 12 年度
4	実施根拠	戦没者等の遺族に対する特別弔慰金支給法、戦没者等の妻に対する特別給付金支給法、堺原爆被害者の会運営補助金交付要綱		

事業の概要

5	事業の実施主体	本庁、各区					
6	事業の対象	堺市戦没者遺族、原爆被害者、その他市民				対象数	単位
						—	—
7	事業の目的	戦没者及び戦災物故者を追悼し恒久平和を祈念し、戦没者遺族・戦傷病者の援護の増進を図る。また、平和の尊さを広く伝え、恒久平和への誓いを新たにする。					
8	事業内容	・関連団体への支援（堺原爆被害者の会） ・大阪戦没者追悼式の開催（大阪府・大阪市・堺市 共同開催） ・戦傷病者戦没者遺族等援護法に係る業務（戦没者等の遺族に対する特別弔慰金等の受付、府への経由、国債の受け渡し業務等） ・慰霊碑の管理（平和塔の清掃業務、関西大風水害殉難者慰霊碑の敷地内植木剪定業務等）					
	※国・府の基準より上回って実施した内容	—					
9	主な支出先	大阪府、堺原爆被害者の会、公益社団法人堺市シルバー人材センター等					
10	公民連携・協働事業	大阪府・大阪市と合同で大阪戦没者追悼式を実施					

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	定性的な成果目標						
	戦没者及び戦災物故者を追悼し恒久平和を祈念し、戦没者遺族・戦傷病者の援護の増進を図る。また、平和の尊さを広く伝え、恒久平和への誓いを新たにする。						
	当該目標を設定した理由	各種事業を通じて平和の尊さを訴え、各種援護制度により福祉の増進に寄与するため。					
	目標に対する実績	各種事業を通して、戦没者及び戦災物故者を追悼し恒久平和を祈念し、戦没者遺族・戦傷病者の援護の増進に寄与した。					
12	活動指標	単位		実績		目標	
			令和6年度	令和7年度	令和8年度		
	特別弔慰金の申請受付件数	件	目標値	—	—	—	
			実績値	—	1,675		
			達成率	—	—		
	当該指標を選定した理由	戦没者遺族・戦傷病者の援護の増進に寄与するため。					
目標値の設定根拠・算出方法	申請者本人の意思により申請するものであり、目標値設定になじまない。						

令和8年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	戦傷病者・戦没者遺族等援護	事業番号	011-005
-------	---------------	------	---------

Ⅲ. 投入量												
事業コスト												
※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）												
13	財 源 内 訳	項 目	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度			
			決算		決算		当初予算		当初予算			
		事業費（a）	1,556		1,610		16,183		15,672		3,795	
		国支出金	0		0		0		0		0	
		府支出金	306		212		460		506		450	
		市債	0		0		0		0		0	
		その他（ ）	0		0		0		0		0	
		受益者負担金(使用料、手数料等)	0		0		0		0		0	
14	人件費（b）	1,250		1,398		15,723		15,166		3,345		
		2,430		2,430		12,900		12,900		2,610		
15	年間経費（c）=(a)+(b)	3,986		4,040		29,083		28,572		6,405		
事業費の内訳												
（単位：千円）												
16	事 業 費 内 訳	項 目	年度		事業費	うち 一般財源	項 目	年度		事業費	うち 一般財源	
		報酬	R7	決算	3,205	2,699	役務費	R7	決算	188	188	
			R8	予算	0	0		R8	予算	296	0	
		職員手当等	R7	決算	1,238	1,238	委託料	R7	決算	7,814	7,814	
			R8	予算	0	0		R8	予算	1,577	1,577	
		報償費	R7	決算	0	0	使用料及び賃借料	R7	決算	17	17	
			R8	予算	143	143		R8	予算	27	27	
		旅費	R7	決算	281	281	負担金、補助及び交付金	R7	決算	2,818	2,818	
			R8	予算	105	91		R8	予算	1,493	1,493	
		需用費	R7	決算	111	111		R7	決算			
			R8	予算	154	14		R8	予算			

Ⅳ. 事業の効率性					
単位当たり経費					
17	区 分	単位	令和6年度	令和7年度	
	① 特別弔慰金の申請受付件数		—	1,675	
	② 上記①にかかる年間経費	千円	141	1,715	
	③ 単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	—	1,024	
算出についての説明等		特別弔慰金は5年ごとの支給であり、第12回特別弔慰金の請求期間は令和7年4月1日～令和10年3月31日である。			

Ⅴ. 評価		
費用対効果に係る所見		
18	令和6年度は第11回特別弔慰金の申請受付期間外であることから、単位当たり経費の算出はできない。一方、令和7年度は第12回特別弔慰金の申請受付開始年度に当たるため、申請件数が多くなり、それに伴い関連費用が増加した。	
KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）		
19	戦没者遺族に対する弔慰金の支給や関連団体への支援等を通して、戦没者遺族・戦傷病者の援護の増進に寄与した。 また、式典の実施等により、戦没者及び戦災物故者を追悼し恒久平和を祈念することで、全ての人が安心して心豊かに暮らし続けられる社会の実現に寄与した。	
令和3年度からの実績等を踏まえた事業の必要性・有効性に係る所見（前年度の事務事業評価で点検対象年度を令和7年度とした事業のみ記載）		
20	必要性	■ 高い □ 低い
	有効性	■ 高い □ 低い
戦没者遺族等に対する弔慰金は、国として改めて弔慰の意を表すため法に基づき支給されるものであり、戦没者遺族・戦傷病者の援護の増進に寄与するものである。 今後も、式典等の各種事業を通して、戦没者及び戦災物故者を追悼し恒久平和を祈念することで、平和や人権の尊重に関する意識の向上に寄与し、すべての人が、安心して幸せに暮らすことのできる平和社会の実現をめざす。		